

東京芸術大学百年史刊行にあたって

東京芸術大学は、昭和五十六年、その前身である東京美術学校および東京音楽学校の創立から昭和六十二年に至る百年の歴史を、その創立前史を含めて『東京芸術大学百年史』として刊行することを計画しました。当初は全六巻の予定でしたが、資料収集と編集作業の進展に伴って計画がふくらみ、最終的には全十二巻（東京美術学校篇四巻、東京音楽学校篇二巻、演奏会篇三巻、東京芸術大学篇三巻）の刊行となっています。学内に百年史編集委員会が組織され、この計画が具体化したのは、前述の通り昭和五十六年のことでしたが、すでにそれ以前から美術学部美術教育学研究室、教育資料編纂室、および音楽学部音楽研究センターにおいて、それぞれ本学における芸術教育史資料の収集と研究が進められておりました。

こうして蓄積された資料を基礎に、改めてその充実作業と具体的編集活動に入り、昭和六十二年に東京音楽学校篇第一巻と東京美術学校篇第一巻が刊行されました。次いで平成二年に演奏会篇第一巻、同四年に東京美術学校篇第二巻、同五年に演奏会篇第二巻がそれぞれ出版され、平成九年には東京美術学校篇第三巻、およびその別巻として『上野直昭日記』が刊行されました。そしてこのたびの東京音楽学校篇第二巻、東京芸術大学篇、東京芸術大学美術学部篇、東京芸術大学音楽学部篇の四巻の刊行をもって、『東京芸術大学百年史』全十二巻はようやく完結することとなりました。この百年史がこれからのわが国の芸術教育における歴史認識の基礎資料として生きて働くことを願ってやみません。

この二十余年間、資料の提供と協力を仰いだ諸機関ならびに卒業生の皆様、その関係者をはじめとする多くの方々に厚くお礼を申し上げます。また、刊行を支援して下さいました芸術研究振興財団の皆様や資料収集の便宜を図って下さった本学事務官の皆様にも深く感謝を申し上げますとともに、本百年史の編集に直接、あるいは間接的に関与された四十数名に及ぶ皆様の真

